

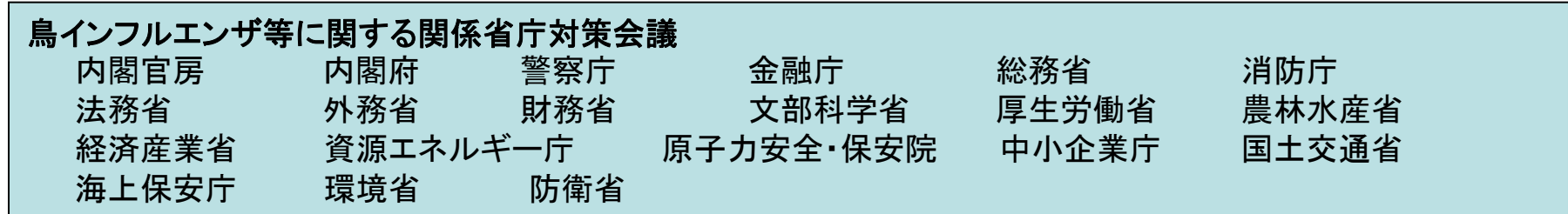
# 参 考 资 料

## WHOにおけるインフルエンザパンデミックフェーズ

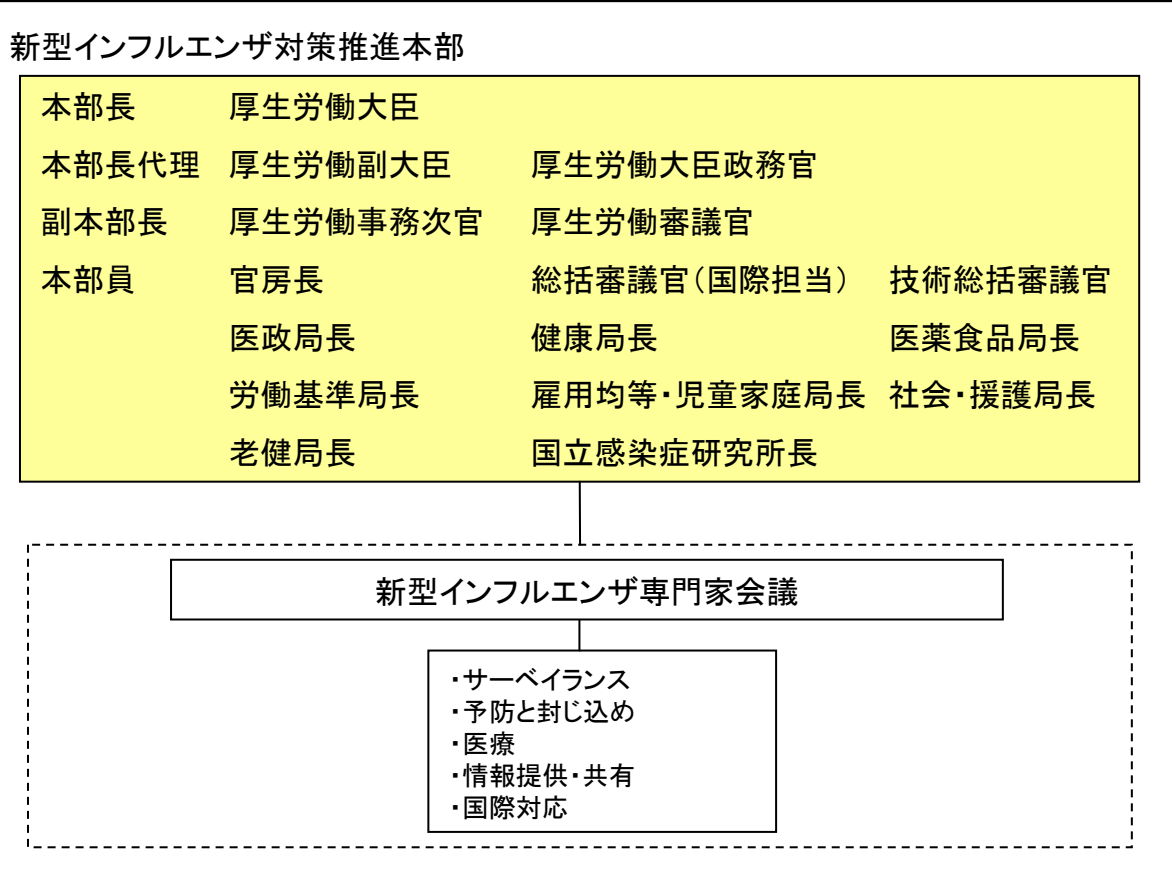
WHOの2005年版分類による パンデミックフェーズ	パンデミック対策の 各フェーズにおける目標	状況別の 追加小項目
<p><b>フェーズ1</b> (前パンデミック期)</p> <p>ヒトから新しい亜型のインフルエンザは検出されていないが、ヒトへ感染する可能性を持つ型のウイルスを動物に検出</p>	<p>世界、国家、都道府県、市区町村のそれぞれのレベルで、パンデミック対策を強化する</p>	
<p><b>フェーズ2</b> (前パンデミック期)</p> <p>ヒトから新しい亜型のインフルエンザは検出されていないが、動物からヒトへ感染するリスクが高いウイルスが検出</p>	<p>ヒトの感染拡大のリスクを減少させ、仮にヒト感染が起きたとしたら、迅速な検知、報告が行われる体制を整備する</p>	
<p><b>フェーズ3</b> (パンデミックアラート期)</p> <p>ヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認されているが、ヒトからヒトへの感染は基本的に無い</p>	<p>新型ウイルスを迅速に検査診断し、報告し、次の患者発生に備える</p>	<p>感染が見られている地域であるか、そのような地域との人的交流、貿易があるか否か、まったく</p>
<p><b>フェーズ4</b> (パンデミックアラート期)</p> <p>ヒトからヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認されているが、感染集団は小さく限られている</p>	<p>隔離をはじめとした物理的な封じ込め対策を積極的に導入し、ワクチンの開発と</p>	<p>影響が無いかに基づき、</p>
<p><b>フェーズ5</b> (パンデミックアラート期)</p> <p>ヒトからヒトへの新しい亜型のインフルエンザ感染が確認され、パンデミック発生のリスクが大きな、より大きな集団発生がみられる</p>	<p>接種などの、事前に計画し、準備した感染症対策の実施に必要な時間的猶予を確保するために、最大限努める</p>	<p>対策の細部を適宜改良する</p>
<p><b>フェーズ6</b> (パンデミック期)</p> <p>パンデミックが発生し、一般社会で急速に感染が拡大している</p>	<p>パンデミックの影響を最小限にとどめるためのあらゆる対策をとる</p>	<p>上記以外に、パンデミックの小康状態と第2波への対策</p>
<p><b>後パンデミック期</b></p> <p>パンデミックが発生する前の状態へ、急速に回復している</p>	<p>パンデミックによる多方面への影響を評価し、計画的復興と対策の改善を実施する</p>	

# 新型インフルエンザ対策の推進体制

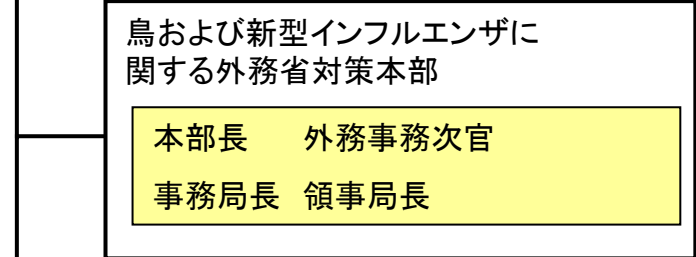
## 政府レベル



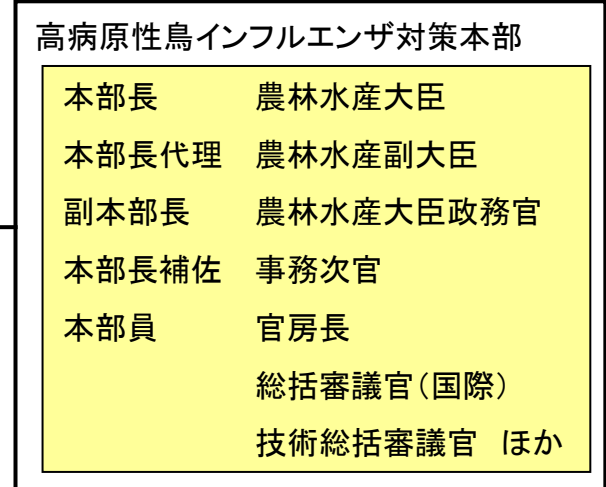
## 厚生労働省



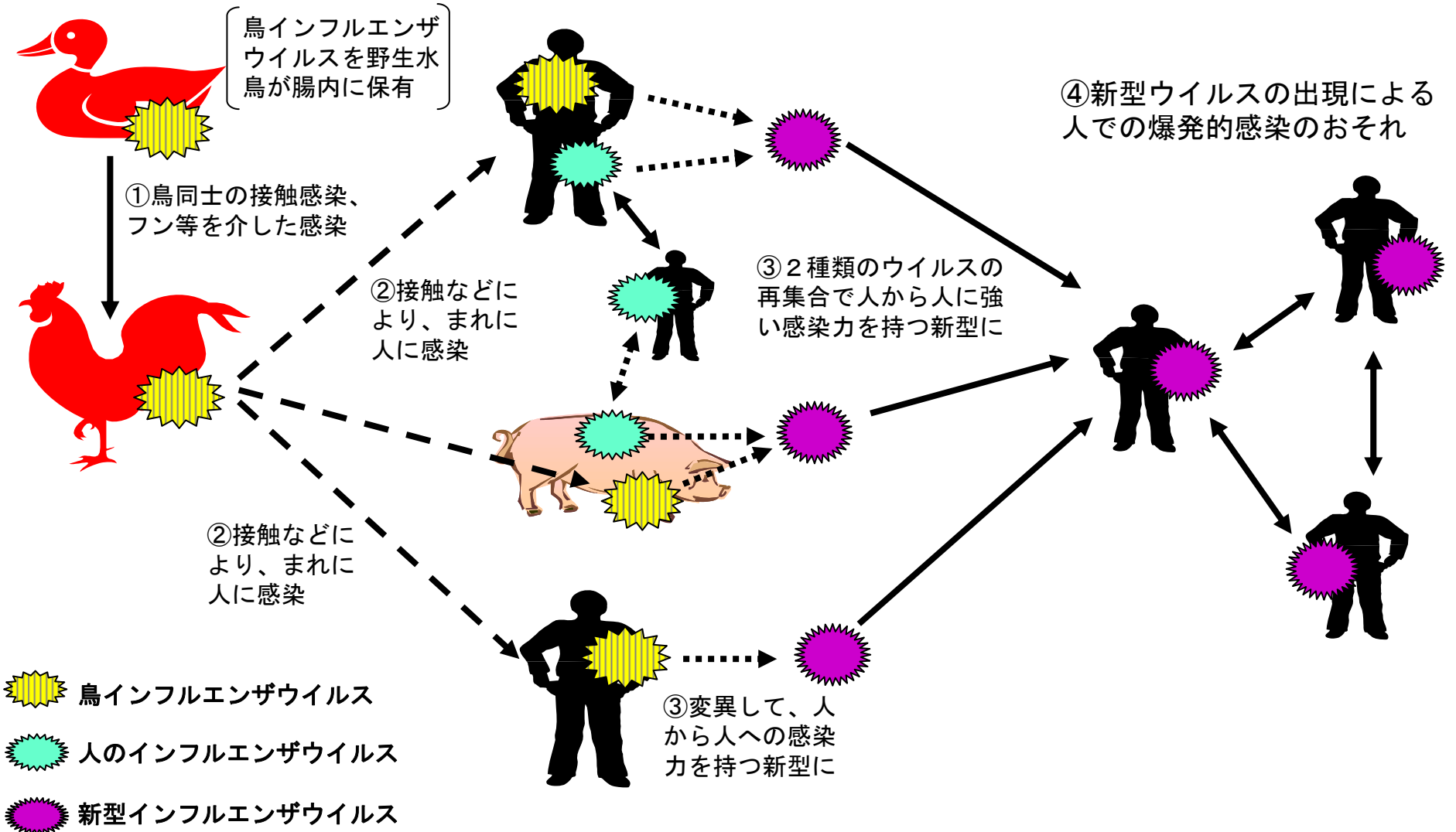
## 外務省



## 農林水産省



# 鳥インフルエンザと新型インフルエンザの関係



## 【用語解説】

### ○ インフルエンザ

インフルエンザはインフルエンザウイルスによる感染症で、原因となっているウイルスの抗原性の違いから、A型、B型、C型に大きく分類される。A型はさらに、ウイルスの表面にある赤血球凝集素（HA）とノイラミニダーゼ（NA）という、2つの糖蛋白の抗原性の違いにより亜型に分類される。（いわゆるA/ソ連型、A/香港型というのは、この亜型のことをいう。）

### ○ 鳥インフルエンザ

一般的に、水禽を中心とした鳥類が保有し、ヒトのインフルエンザウイルスとは別のA型インフルエンザウイルスの感染症のこと。このうち感染した鳥が死亡したりするなど、特に強い病原性を示すものを「高病原性鳥インフルエンザ」という。

近年トリからヒトへ、インフルエンザウイルス（H5N1）の感染事例を認めるが、病鳥と近距離で接触した場合、又はそれらの内臓や排泄物に接触するなどしたことが多いと考えられており、調理された鶏肉や鶏卵からの感染の報告はない。

### ○ パンデミック

感染症の世界的大流行。

特にインフルエンザのパンデミックは、近年これがヒトの世界に存在しなかったためにほとんどのヒトが免疫を持たず、ヒトからヒトへ効率よく感染する能力を得て、世界中で大きな流行を起こすことを指す。

### ○ 家きん

鶏、あひる、七面鳥及びうずらのこと。

### ○ サーベイランス

見張り、監視制度という意味。

特に感染症に関しては、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、感染症の発生状況（患者及び病原体）の把握及び分析が行われている。

### ○ 病原体サーベイランス

感染症サーベイランスの内、特に、感染の原因となった病原体についての

発生数や詳細な種類などについて報告してもらい、状況を監視するシステム。

○ クラスターサーベイランス

感染のみられた集団（クラスター）を早期に発見するため、一定の大きさの集団を対象に、その集団内における患者の発生動向の報告を行ってもらい、状況を監視するシステム。

○ 症候群サーベイランス

あらかじめ指定する医療機関において、一定の症候を有する患者が診察された場合に、即時的に報告を行ってもらい、感染症の早期発見を目的とするシステム。

○ 感染症サーベイランスシステム（NESID）

感染症法では、感染症の発生を迅速に把握することによって、感染症の予防と拡大防止、そして国民に正確な情報を提供することを目的として、日常的に種々の感染症の発生動向を監視している。これは感染症を診断した医療機関からの発生報告を基本としているが、これら発生報告を一元的に効率よく収集解析するために、地方自治体と国の行政機関を結ぶネットワーク、あるいはインターネットをベースに構築された電子的なシステムを指す。

○ 疑い症例調査支援システム

感染症サーベイランスシステム（NESID）等を用いて、大規模な流行の可能性のある感染症に感染した疑いがある患者に関する情報（行動履歴、接触者情報を重点に置く）を登録し、疫学的リンクや異常な症状から、新しい亜型のインフルエンザ患者を発見するために、疑われる症例を診断に結びつけていくシステム。

○ ウイルス学的サーベイランス

流行している新型インフルエンザウイルスの抗原性、遺伝子型、抗ウイルス薬への感受性を調べ、ワクチンの効果や治療方法の評価、あるいはそれらの変更の根拠とするためのシステム。

○ パンデミック時インフルエンザ様疾患サーベイランス

感染が拡大した場合、インフルエンザ様疾患症状による定義（症候群）を報告することにより、患者数を継続的にモニタリングするシステム。継続的にモニタリングすることにより、感染の拡大の様子を把握し、拡大防

止策の検討に役立てることを目的とする。

○ 予防接種副反応迅速把握システム

ワクチンの副反応の状況を把握するシステム。接種継続の是非、対象者の限定、予防接種優先順位の変更等の判断に役立てることを目的とする。

○ 薬剤耐性株サーベイランス

収集したウイルス株の薬剤感受性試験や遺伝子解析を行い、抗インフルエンザウイルス薬に対する耐性株の出現頻度やその性状等について把握するための検査を行う。

○ トリアージ

災害発生時などに多数の傷病者が発生した場合に、適切な搬送、治療等を行うために、傷病の緊急度や程度に応じて優先順位をつけること。

○ レスピレーター

人工呼吸器のこと。人工呼吸器とは、救急時・麻酔使用時等に、患者の肺に空気又は酸素を送って呼吸を助けるための装置。

○ PPE (Personal Protective Equipment : 個人防護具)

マスク、ゴーグル、ガウン、手袋等のように、各種の病原体、化学物質、放射性物質、その他の危険有害要因との接触による障害から個人を守るために作成・考案された防護具。特に病原体の場合は、その感染を防御することが目的であり、感染経路や用途（スクリーニング、診察、調査、侵襲的処置等）に応じて適切なPPEを考案・準備する必要がある。

○ 感染症指定医療機関

「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づく特定感染症指定医療機関、第1種感染症指定医療機関及び第2種感染症指定医療機関のことであり、新感染症、一類感染症、二類感染症の患者の入院を担当する。

\* 特定感染症指定医療機関：新感染症の所見がある者又は一類感染症若しくは二類感染症の患者の入院を担当させる医療機関として厚生労働大臣が指定した病院。

\* 第1種感染症指定医療機関：一類感染症又は二類感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院。

\* 第2種感染症指定医療機関：二類感染症の患者の入院を担当させる医療機関として都道府県知事が指定した病院。

## ○ 感染症の定義及び類型

[一類感染症] : 感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づいて総合的な観点から極めて危険性が高い感染症。(例 : エボラ出血熱、ペスト等)

[二類感染症] : 感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づいて総合的な観点から危険性が高い感染症。(例 : 急性灰白髄炎、ジフテリア等)

[三類感染症] : 感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づいて総合的な観点からみた危険性は高くはないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。  
(例 : 腸管出血性大腸菌感染症 (O157) 等)

[四類感染症] : 人から人への感染はほとんどないが、動物や物件から感染する可能性があり、消毒等の措置が必要となる感染症。  
(例 : A 型肝炎、狂犬病等)

[五類感染症] : 国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症。  
(例 : 麻しん、梅毒等)

[指定感染症] : 既知の感染症の中で一類から三類に分類されない感染症において一類から三類に準じた対応の必要が生じた感染症。

## ○ 感染症病床、結核病床

病床は、医療法によって、一般病床、療養病床、精神病床、感染症病床、結核病床に区別されている。感染症病床とは、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律に規定する一類感染症、二類感染症及び新感染症の患者を入院させるための病床であり、結核病床とは、結核の患者を入院させるための病床である。

## ○ 陰圧病床

院内感染を防ぐために、病室の内部の気圧をその外部の気圧より低くすることによって、外部に感染症の病原体を拡散させないようにしている病床。

## ○ 指定届出機関

五類感染症の患者を診断し、又は死亡した者の死体を検案したときに、患者又は死亡した者の年齢、性別等を届け出る病院又は診療所。

## ○ PCR (Polymerase Chain Reaction : ポリメラーゼ連鎖反応)

DNA を、その複製に関与する酵素であるポリメラーゼやプライマーを用いて



大量に増幅させる方法。ごく微量の DNA であっても検出が可能なため、病原体の検出検査に汎用されている。インフルエンザウイルス検出の場合は、同ウイルスが RNA ウイルスであるため、逆転写酵素 (Reverse Transcriptase) を用いて DNA に変換した後に PCR を行う RT-PCR が実施されている。

○ 抗インフルエンザウイルス薬

インフルエンザウイルスの増殖を特異的に阻害することによって、インフルエンザの症状を軽減する薬剤。ノイラミニダーゼ阻害剤は抗インフルエンザウイルス薬の一つであり、ウイルスの増殖を抑える効果がある。

○ プレパンデミックワクチン

新型インフルエンザウイルスがパンデミックを起こす以前に、鳥-ヒト感染の患者または鳥から分離されたウイルスを基に製造されるワクチン（現在は H5N1 亜型を用いて製造）。

○ パンデミックワクチン

パンデミックが実際に発生した際に、ヒト-ヒト感染を生じたウイルス又はこれと同じ抗原性をもつウイルスを基に製造されるワクチン

○ 矯正施設:

刑務所, 少年刑務所, 拘置所, 少年院, 少年鑑別所, 及び婦人補導院の総称。

このうち, 刑務所及び少年刑務所は, 主として受刑者を収容し処遇を行う施設であり, 拘置所は, 主として刑事裁判が確定していない未決拘禁者を収容する施設のことである。

また, 少年院は, 主として家庭裁判所から保護処分として送致された者を収容する施設であり, 少年鑑別所は, 主として家庭裁判所から観護措置の決定によって送致された少年を収容する施設のことである。

なお, 婦人補導院は, 売春防止法に基づき補導処分に付された者を収容する施設のことである。

これら矯正施設は, 法務省が所管し, 内部部局である矯正局及び全国8か所に設置されている地方支分部局である矯正管区が指導監督に当たっている。

○ リスクコミュニケーション

我々を取り巻くリスクに関する情報を、行政、住民などの関係主体間で共有し、相互に情報伝達を行い、意思疎通を図ること。